

## 第5章 樹木

### 1. 樹木の現況

#### 1-1 樹木の概況

樹木調査では新宿御苑と明治神宮外苑、及び街路樹を除く新宿区全域において、現地にて樹木調査を行った。なお、令和2年度（第9次）調査では、幹の大きさは樹木の種類や生育状況等により異なり、全てが円形ではないため、現地で測定可能なものは幹周りを測定し、測定不能なものは樹幹直径を計測し幹周りを換算して求めることとした。調査結果を表5-1に示す。

区内の幹周り95cm（樹幹直径約30cm）以上の樹木本数は14,489本であった。また、立入ができないため樹形と樹勢の調査を行うことができないものが75本あった。

1ha当たりの樹木本数は区全域では7.9本であり、新宿御苑と明治神宮外苑を除いた面積の1ha当たり本数は8.2本であった。また、人口1,000人当たりの樹木本数は41.7本であった。

表5-1 樹木の概況

| 樹木本数<br>(本) | 区面積<br>(ha)            | 人口<br>(人) | 1ha当たり<br>樹木数<br>(本) | 人口1,000人<br>当たり樹木本数<br>(本) |
|-------------|------------------------|-----------|----------------------|----------------------------|
| 14,489      | 1,825.40<br>(1,765.63) | 347,570   | 7.9<br>(8.2)         | 41.7                       |

\*面積は地形図データの図形面積とする。

\*区面積下段の（）内は区面積から新宿御苑と明治神宮外苑の図形面積を差し引いた数値。

\*人口は令和2年4月1日現在の住民基本台帳人口（347,570人）とする。

表5-2 新宿御苑と明治神宮外苑の樹木の概況（参考）

|        | 樹木本数(本) | 調査年度      | 備考                     |
|--------|---------|-----------|------------------------|
| 新宿御苑   | 4,611   | 平成24～令和元年 | 幹周90cm以上               |
| 明治神宮外苑 | 約2,300  | 平成29～令和元年 | 幹周90cm以上<br>(イチョウ並木含む) |

## 1-2 地域別の樹木の状況

10 地域別の樹木本数の状況を表 5-3、図 5-1 に示す。

樹木本数が最も多い地域が若松地域の 2,210 本であった。次いで大久保地域の 2,043 本、戸塚地域の 1,873 本であった。これらの地域には都立戸山公園、早稲田大学、都営戸山ハイツアパート等の樹木の多い施設が位置している。最も樹木本数が少ない地域が榎地域の 748 本、次いで柏木地域の 832 本であった。面積当たりの樹木本数では、若松地域の 14.0 本/ha が最も多く、次いで戸塚地域が 10.7 本/ha、大久保地域が 9.9 本/ha であった。

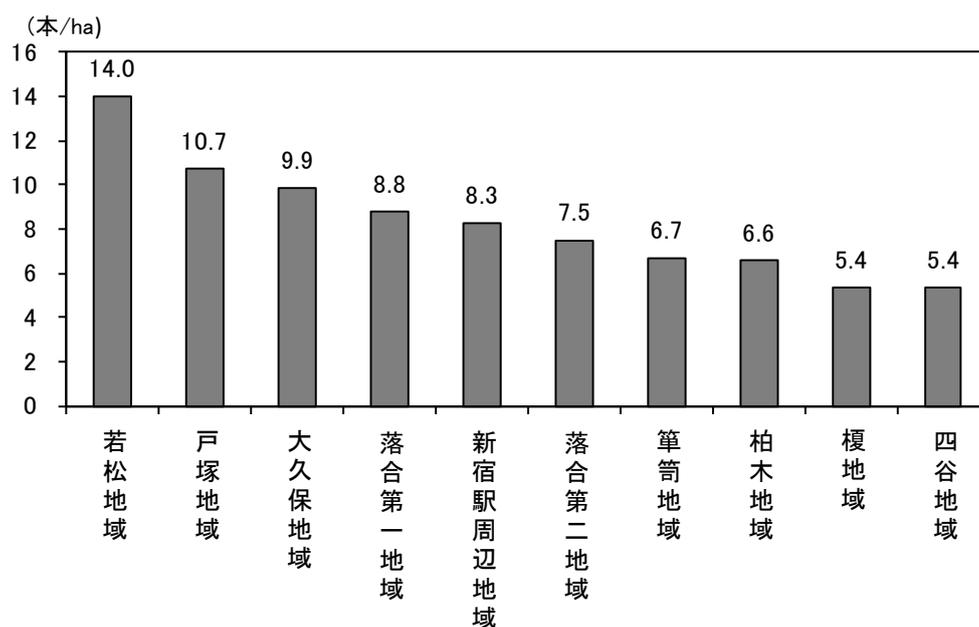
表 5-3 10 地域別樹木本数の状況

| 地域      | 面積 (ha)  | 樹木本数 (本) | 面積当たり樹木本数 (本/ha) |
|---------|----------|----------|------------------|
| 四谷地域    | 262.02   | 1,403    | 5.4              |
| 笹筥地域    | 222.98   | 1,491    | 6.7              |
| 榎地域     | 139.34   | 748      | 5.4              |
| 若松地域    | 157.63   | 2,210    | 14.0             |
| 大久保地域   | 207.10   | 2,043    | 9.9              |
| 戸塚地域    | 175.03   | 1,873    | 10.7             |
| 落合第一地域  | 158.28   | 1,390    | 8.8              |
| 落合第二地域  | 154.43   | 1,161    | 7.5              |
| 柏木地域    | 126.87   | 832      | 6.6              |
| 新宿駅周辺地域 | 161.94   | 1,338    | 8.3              |
| 区全体     | 1,765.63 | 14,489   | 8.2              |

\*面積は地形図データの図形面積とする。

\*四谷地域は面積、樹木本数とも新宿御苑、明治神宮外苑を除いている。

\*面積当たり樹木本数は小数第 2 位を四捨五入している。



\*四谷地域は面積、樹木本数とも新宿御苑、明治神宮外苑を除いている。

図 5-1 10 地域別 1 ha 当たり樹木本数

町丁目別の樹木密度分布（1ha 当たりの樹木本数）を図 5-2 に示す。

樹木密度が 20 本/ha 以上の町丁目は、戸山二丁目、百人町四丁目、大久保三丁目、西新宿二丁目等の 8 町丁目であった。これらの町丁目には都立戸山公園、区立西戸山公園、区立新宿中央公園、都営戸山ハイツアパート等の樹木の多い施設を有している。その他白銀町や戸塚町一丁目のように町丁目面積が小さく、区立白銀公園、大隈庭園のような比較的樹木本数の多い公園や庭園がある場合も、樹木密度は高くなっている。

一方、神楽坂三丁目、四谷三丁目、築地町では、調査対象となる樹木は確認できなかった。その他樹木密度が低い町丁目は笹笥町、岩戸町、細工町等であり、笹笥地域において樹木密度の低い町丁目が多くなっている。

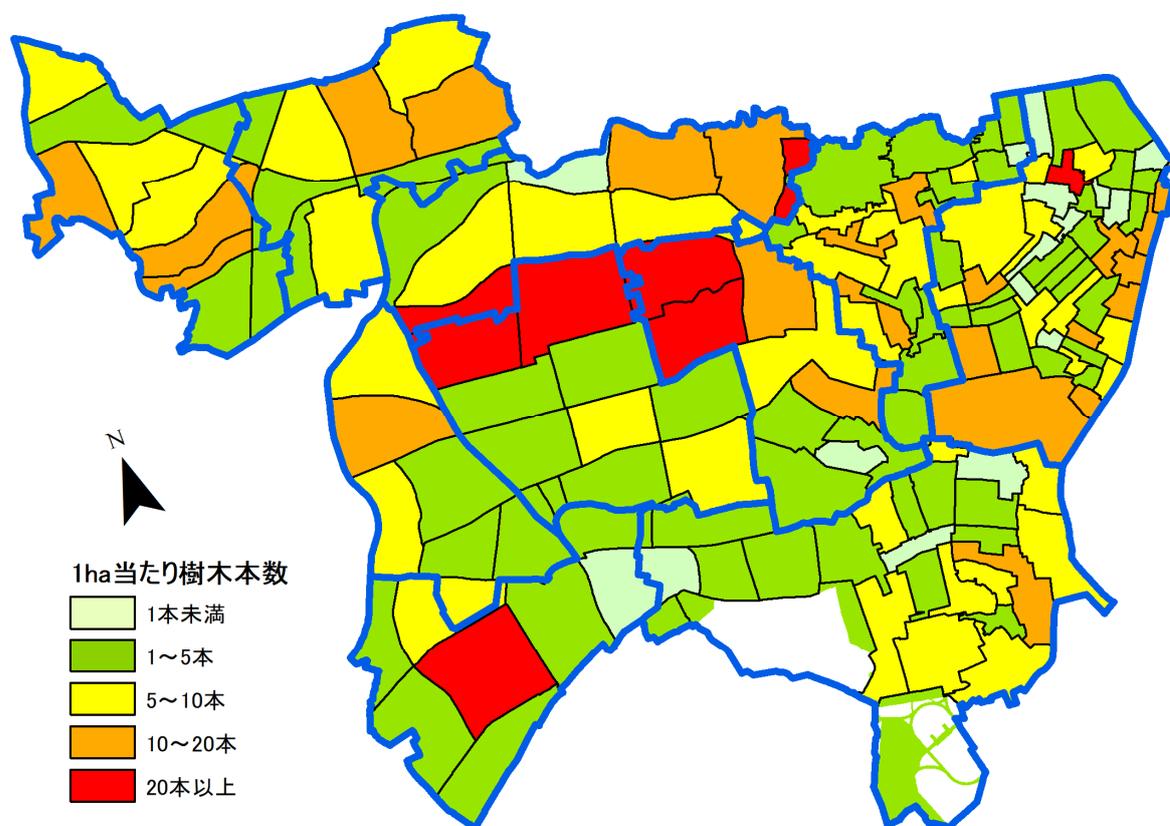


図 5-2 町丁目別樹木密度分布図

\*白抜きである新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

### 1-3 土地用途別の樹木の状況

土地用途別の樹木の分布状況を表 5-4、図 5-3 に示す。

公園の樹木本数が最も多く 4,842 本で、全体の 33.4% を占める。次いで学校が 2,318 本 (16.0%)、集合住宅が 1,982 本 (13.7%)、寺社境内の 1,581 本 (10.9%) であった。公園、学校、公共施設の公共系施設 (私立学校を含む) では 8,406 本の樹木があり、全体の約 6 割を占めている。集合住宅においても都営住宅等の公共住宅に多くの樹木があり、公的な施設に多くの樹木があることが分かる。

表 5-4 土地用途別の樹木分布状況

| 土地用途 | 樹木数(本) | 構成比(%) |
|------|--------|--------|
| 公園   | 4,842  | 33.4   |
| 学校   | 2,318  | 16.0   |
| 公共施設 | 1,246  | 8.6    |
| 寺社境内 | 1,581  | 10.9   |
| 集合住宅 | 1,982  | 13.7   |
| 個人住宅 | 1,133  | 7.8    |
| 事業所  | 951    | 6.6    |
| その他  | 436    | 3.0    |
| 合計   | 14,489 | 100.0  |

\*構成比は小数第 2 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。  
\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

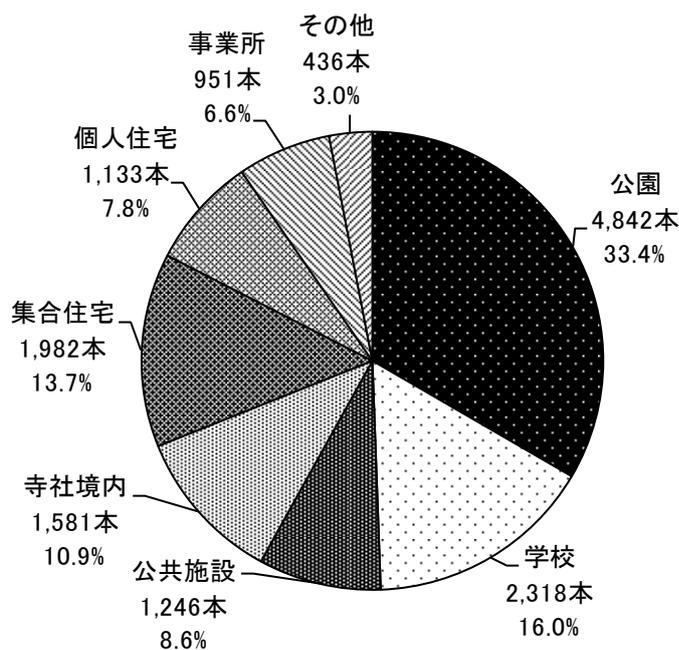


図 5-3 土地用途別樹木構成比

樹木本数の多い施設（上位 30 位）を表 5-5 に示す。

樹木本数が最も多い施設が都立戸山公園（箱根山地区・大久保地区）で、1,391 本が確認できた。次いで区立新宿中央公園が 789 本であった。100 本以上の樹木がある施設は 12 施設あった。

平成 27 年（第 8 次）調査との比較では、都立明治公園の一部廃園に伴う樹木の伐採、神田川沿いのサクラは区立神田上水公園の区域ではないことから、これらの 2 公園は上位 30 位には入らず、代わって区立みなみもと町公園と区立落合中央公園が上位 30 位に入った。また、第 8 次調査では第 3 位が防衛省、第 4 位が都営戸山ハイツアパートであったが、第 9 次調査では早稲田大学早稲田キャンパスが 3 位となっている。また、都立戸山公園は樹木の生長に伴い、第 8 次調査から 77 本増加した。区立新宿中央公園では公園内の整備に伴い 42 本の減少であった。

表 5-5 樹木本数の多い施設（上位 30 位）

| 順位 | 施設名称                      | 樹木本数  |
|----|---------------------------|-------|
| 1  | 都立戸山公園(箱根山地区・大久保地区)       | 1,391 |
| 2  | 区立新宿中央公園                  | 789   |
| 3  | 早稲田大学早稲田キャンパス             | 338   |
| 4  | 防衛省                       | 281   |
| 5  | 都営戸山ハイツアパート               | 247   |
| 6  | 区立おとめ山公園                  | 227   |
| 7  | 区立西戸山公園                   | 207   |
| 8  | 学習院女子大学／学習院女子高等科／学習院女子中等科 | 187   |
| 9  | 区立甘泉園公園                   | 164   |
| 10 | 大隈会館／大隈庭園／大隈講堂            | 163   |
| 11 | 西戸山タワーガーデン                | 153   |
| 12 | 目白大学／目白研心高等学校／目白研心中学校     | 112   |
| 13 | 学習院初等科                    | 95    |
| 14 | 慶応義塾大学医学部／慶応義塾大学病院        | 92    |
| 15 | 区立落合公園                    | 91    |
| 16 | 国立国際医療研究センター              | 90    |
| 17 | 早稲田大学理工学部                 | 89    |
| 18 | 千代田区立外濠公園                 | 87    |
| 19 | みずほ銀行矢来町ハイツ               | 85    |
| 20 | 都立戸山高等学校                  | 85    |
| 21 | 区立北新宿公園                   | 83    |
| 22 | 西大久保第二住宅                  | 77    |
| 23 | 東京山手メディカルセンター付属看護専門学校     | 76    |
| 24 | 区立白銀公園                    | 75    |
| 25 | 区立鶴巻南公園                   | 74    |
| 26 | 東京都庁                      | 74    |
| 27 | 区立東戸山小学校                  | 69    |
| 28 | 中野区立哲学堂公園(新宿西落合二丁目地内)     | 65    |
| 29 | 区立みなみもと町公園                | 64    |
| 30 | 区立落合中央公園                  | 55    |

#### 1-4 太さ別の樹木の状況

区内の幹周り約 95 cm以上の樹木について、幹周りランクにより Aクラス（幹周り 160 cm以上、直径 50 cm以上相当）、Bクラス（幹周り 125～160 cm未満、直径 40～50 cm未満相当）、Cクラス（幹周り 125 cm未満、直径 40 cm未満相当）のクラス別及び地域別に集計したものを表 5-6、図 5-4、図 5-5 に示す。

区全体では Aクラスが最も多く 5,242 本で全体の 36.2%、Bクラス 4,521 本で 31.2%、Cクラス 4,726 本で 32.6%であった。

10 地域別では、Aクラスの樹木割合が最も高い地域が若松地域の 42.9%であった。若松地域は都立戸山公園等の樹木の多い古くからある施設が多数あり、樹木の生長によって Aクラス級のものが増えていると考えられる。次いで Aクラスの樹木割合が高いのは戸塚地域である。戸塚地域は早稲田大学、大隈庭園、区立甘泉園公園に幹周りの大きい樹木の分布が多いことから、Aクラスの樹木割合が高い。Cクラスの樹木割合が最も多い地域は、大久保地域の 36.9%であった。開発時期の新しい西戸山タワーガーデンに多くの樹木があることから、Cクラスの樹木割合が高いと考えられる。また、都立戸山公園等の施設もあり、Aクラスの樹木割合も 35.1%と比較的高い。次いで Cクラスの樹木割合が高い地域は、笹笥地域の 36.1%であった。防衛省や公園以外の民有地にも樹木の分布が比較的多く、Cクラスの樹木割合が高いと考えられる。

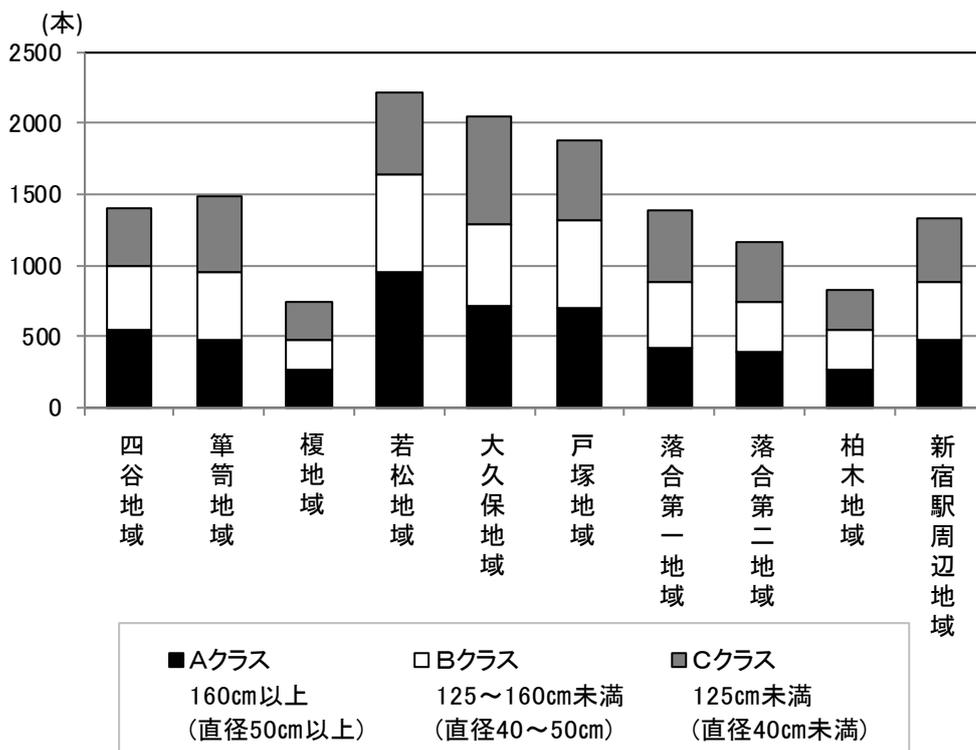
表 5-6 10 地域別の幹周りランク別樹木本数

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 地域      | Aクラス<br>160cm以上<br>(直径50cm以上) | Bクラス<br>125～160cm未満<br>(直径40～50cm) | Cクラス<br>125cm未満<br>(直径40cm未満) | 合計本数              |
|---------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 四谷地域    | 551<br>(39.3)                 | 444<br>(31.6)                      | 408<br>(29.1)                 | 1,403<br>(100.0)  |
| 笹笥地域    | 473<br>(31.7)                 | 480<br>(32.2)                      | 538<br>(36.1)                 | 1,491<br>(100.0)  |
| 榎地域     | 275<br>(36.7)                 | 204<br>(27.3)                      | 269<br>(36.0)                 | 748<br>(100.0)    |
| 若松地域    | 949<br>(42.9)                 | 696<br>(31.5)                      | 565<br>(25.6)                 | 2,210<br>(100.0)  |
| 大久保地域   | 718<br>(35.1)                 | 571<br>(28.0)                      | 754<br>(36.9)                 | 2,043<br>(100.0)  |
| 戸塚地域    | 710<br>(37.9)                 | 613<br>(32.7)                      | 550<br>(29.4)                 | 1,873<br>(100.0)  |
| 落合第一地域  | 423<br>(30.4)                 | 467<br>(33.6)                      | 500<br>(36.0)                 | 1,390<br>(100.0)  |
| 落合第二地域  | 396<br>(34.1)                 | 355<br>(30.6)                      | 410<br>(35.3)                 | 1,161<br>(100.0)  |
| 柏木地域    | 272<br>(32.7)                 | 277<br>(33.3)                      | 283<br>(34.0)                 | 832<br>(100.0)    |
| 新宿駅周辺地域 | 475<br>(35.5)                 | 414<br>(30.9)                      | 449<br>(33.6)                 | 1,338<br>(100.0)  |
| 区全体     | 5,242<br>(36.2)               | 4,521<br>(31.2)                    | 4,726<br>(32.6)               | 14,489<br>(100.0) |

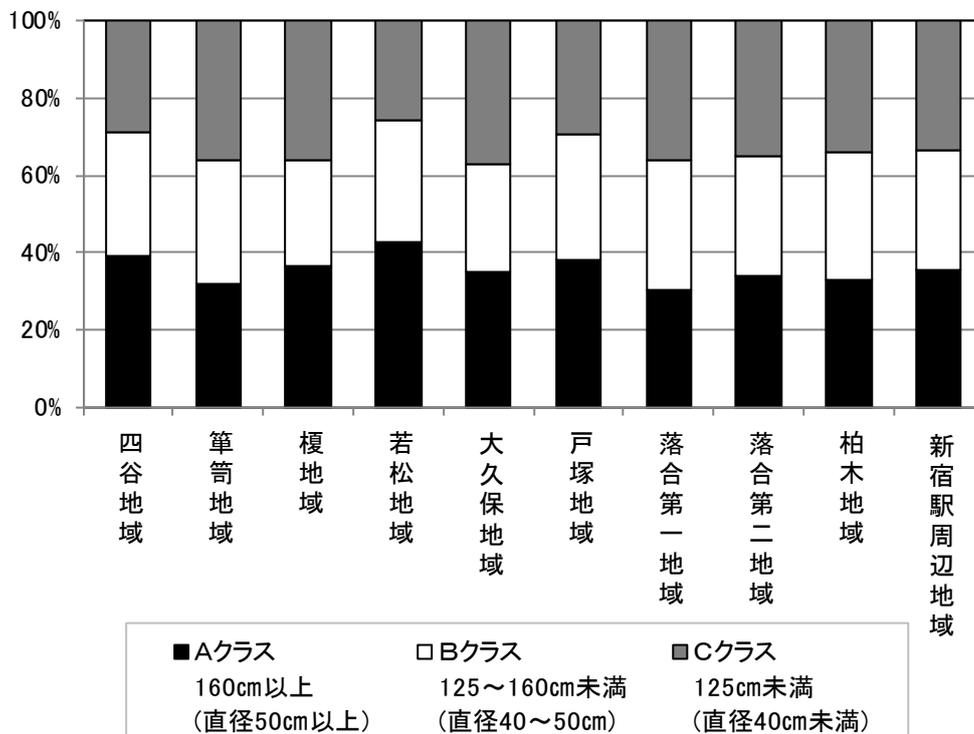
\*構成比は小数第 2 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-4 10 地域別の幹周リランク別樹木本数



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-5 10 地域別の幹周リランク別樹木本数割合

区内の幹周り約 95 cm以上の樹木について、幹周りランクにより Aクラス（幹周り 160 cm以上、直径 50 cm以上相当）、Bクラス（幹周り 125～160 cm未満、直径 40～50 cm未満相当）、Cクラス（幹周り 125 cm未満、直径 40 cm未満相当）のクラス別及び土地用途別に集計したものを表 5-7、図 5-6、図 5-7 に示す。

Aクラスの樹木割合が最も高い土地用途は、寺社境内の 44.8%、次いで公園の 42.4%であった。寺社境内は歴史が古く、樹齢の長い樹木が多く、保護樹木に指定されるなど保全されており、Aクラスの樹木が多いと考えられる。

Cクラスの樹木割合が高い土地利用は、個人住宅の 47.7%、事業所の 45.7%、集合住宅の 41.3%であり、これらの民有地の樹木は幹周りの小さい樹木が多いことが分かる。建築物の建替えに伴って伐採されることが多く、比較的規模が大きい建築計画においても、既存樹木は残さずに植栽を更新することが多いため、Cクラスの樹木割合が高いと考えられる。

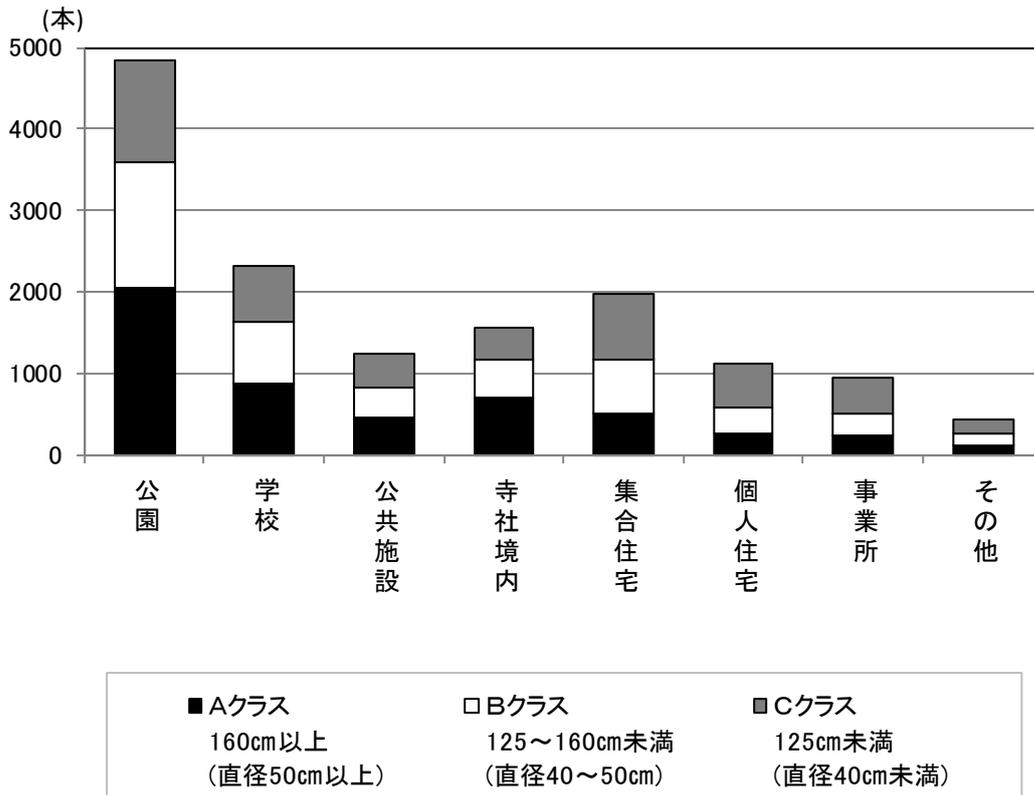
表 5-7 10 土地用途別の幹周りランク別樹木本数

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 土地用途 | Aクラス<br>160cm以上<br>(直径50cm以上) | Bクラス<br>125～160cm未満<br>(直径40～50cm) | Cクラス<br>125cm未満<br>(直径40cm未満) | 合計本数    |
|------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|---------|
| 公園   | 2,054                         | 1,543                              | 1,245                         | 4,842   |
|      | (42.4)                        | (31.9)                             | (25.7)                        | (100.0) |
| 学校   | 882                           | 758                                | 678                           | 2,318   |
|      | (38.1)                        | (32.7)                             | (29.2)                        | (100.0) |
| 公共施設 | 446                           | 370                                | 430                           | 1,246   |
|      | (35.8)                        | (29.7)                             | (34.5)                        | (100.0) |
| 寺社境内 | 709                           | 460                                | 412                           | 1,581   |
|      | (44.8)                        | (29.1)                             | (26.1)                        | (100.0) |
| 集合住宅 | 512                           | 651                                | 819                           | 1,982   |
|      | (25.8)                        | (32.9)                             | (41.3)                        | (100.0) |
| 個人住宅 | 275                           | 318                                | 540                           | 1,133   |
|      | (24.3)                        | (28.0)                             | (47.7)                        | (100.0) |
| 事業所  | 251                           | 265                                | 435                           | 951     |
|      | (26.4)                        | (27.9)                             | (45.7)                        | (100.0) |
| その他  | 113                           | 156                                | 167                           | 436     |
|      | (25.9)                        | (35.8)                             | (38.3)                        | (100.0) |
| 区全体  | 5,242                         | 4,521                              | 4,726                         | 14,489  |
|      | (36.2)                        | (31.2)                             | (32.6)                        | (100.0) |

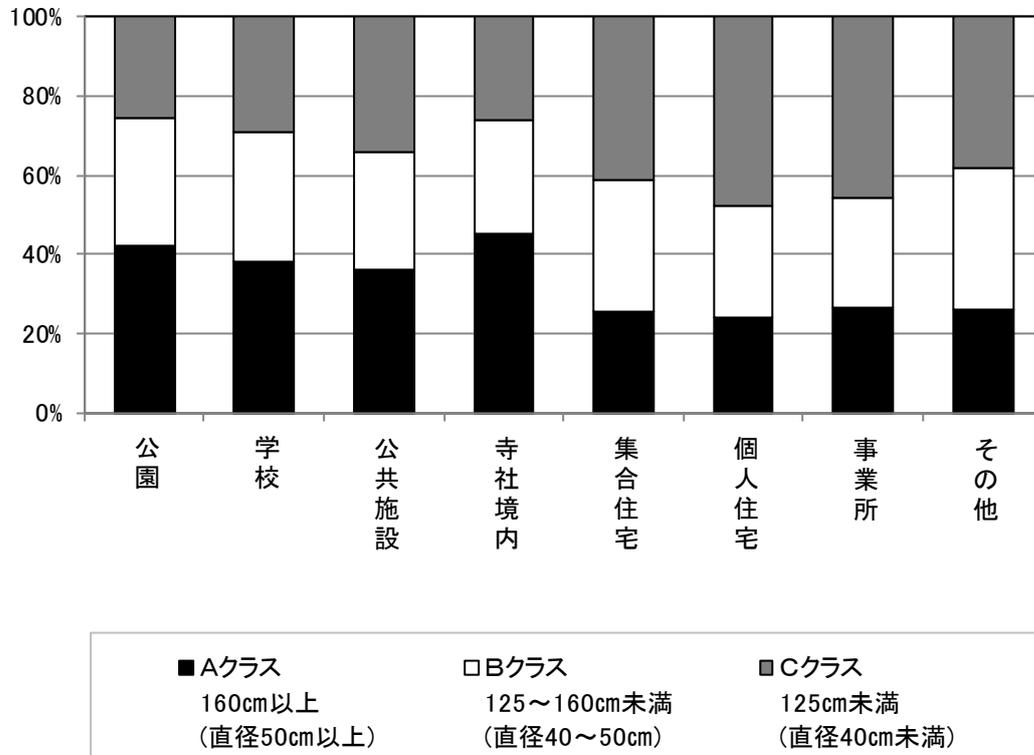
\*構成比は小数第 2 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-6 土地用途別の幹周リランク別樹木本数



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-7 土地用途別の幹周リランク別樹木本数割合

### 1-5 高さ別の樹木の状況

10 地域別の高さ別の樹木本数を表 5-8 に示す。なお、立ち入ることができないなど、高さ計測ができなかったものが 41 本あり、集計対象は 14,448 本である。

区全体では、高さ 10m～20m未満の樹木が最も多く 7,418 本で、集計対象樹木全体の 51.3%であった。令和 2 年度（第 9 次）調査で確認された 20m以上の樹木は 570 本であった。

地域別では、高さ 5m～10m未満の樹木本数の割合が最も高い地域が、笹笥地域の 52.4%、落合第一地域の 51.6%、落合第二地域の 51.2%、柏木地域の 50.8%であった。その他の地域では 10m～20mの樹木本数割合が最も高くなっている。規模の大きい公園や樹木の多い大学、寺社境内を有する地域において、高さの高い樹木が多い傾向にある。また、新宿駅周辺地域では、20m以上の樹木が 298 本あり、区全体の 20m以上の樹木の約半数を占める。新宿駅周辺地域の樹木の多くは、区立新宿中央公園にあり、樹高の高い樹木が多いことが分かる。

表 5-8 10 地域別の高さ別樹木本数

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 地域      | 5m未満<br>(本) | 5m～10m<br>(本) | 10m～20m<br>(本) | 20m以上<br>(本) | 合計本数<br>(本) |
|---------|-------------|---------------|----------------|--------------|-------------|
| 四谷地域    | 25          | 628           | 700            | 50           | 1,403       |
|         | (1.8)       | (44.8)        | (49.9)         | (3.5)        | (100.0)     |
| 笹笥地域    | 27          | 778           | 658            | 21           | 1,484       |
|         | (1.8)       | (52.4)        | (44.4)         | (1.4)        | (100.0)     |
| 榎地域     | 13          | 327           | 392            | 16           | 748         |
|         | (1.7)       | (43.7)        | (52.4)         | (2.2)        | (100.0)     |
| 若松地域    | 25          | 721           | 1,363          | 78           | 2,187       |
|         | (1.1)       | (33.0)        | (62.3)         | (3.6)        | (100.0)     |
| 大久保地域   | 29          | 784           | 1,215          | 14           | 2,042       |
|         | (1.4)       | (38.4)        | (59.5)         | (0.7)        | (100.0)     |
| 戸塚地域    | 51          | 796           | 999            | 26           | 1,872       |
|         | (2.7)       | (42.5)        | (53.4)         | (1.4)        | (100.0)     |
| 落合第一地域  | 40          | 712           | 600            | 29           | 1,381       |
|         | (2.9)       | (51.6)        | (43.4)         | (2.1)        | (100.0)     |
| 落合第二地域  | 57          | 594           | 474            | 36           | 1,161       |
|         | (4.9)       | (51.2)        | (40.8)         | (3.1)        | (100.0)     |
| 柏木地域    | 22          | 423           | 385            | 2            | 832         |
|         | (2.7)       | (50.8)        | (46.3)         | (0.2)        | (100.0)     |
| 新宿駅周辺地域 | 10          | 398           | 632            | 298          | 1,338       |
|         | (0.8)       | (29.7)        | (47.2)         | (22.3)       | (100.0)     |
| 区全体     | 299         | 6,161         | 7,418          | 570          | 14,448      |
|         | (2.1)       | (42.6)        | (51.3)         | (4.0)        | (100.0)     |

\*構成比は小数第 2 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

土地用途別の高さ別の樹木本数を表 5-9 に示す。

公園の樹木は高さ 10m～20mの樹木が 3,105 本で公園全体の 64.1%であり、比較的樹高の高い樹木が多いことが分かる。同様に、高さ 10m～20mの樹木本数の割合が 50%以上の土地用途は、学校の 51.3%、寺社境内の 50.5%であった。5m～10mの樹木本数が多い土地用途は、個人住宅が 69.7%、その他が 61.0%、事業所が 54.3%、集合住宅が 50.7%であり、民有地の樹木は高さの低いものが多い傾向にある。民有地の樹木は、隣地への枝葉の越境、日陰や落ち葉の問題等から強剪定される事例が多く、現地調査においても強剪定の樹木が確認されている。高さ 10mは建物階数では 3 階程度であり、2 階建て住宅の屋根を超える高さである。個人住宅では、そのような 10m以上の樹木を維持管理することが難しいことがうかがえる。

表 5-9 土地用途別の高さ別樹木本数

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 土地用途 | 5m未満<br>(本) | 5m～10m<br>(本) | 10m～20m<br>(本) | 20m以上<br>(本) | 合計本数<br>(本) |
|------|-------------|---------------|----------------|--------------|-------------|
| 公園   | 48          | 1,331         | 3,105          | 358          | 4,842       |
|      | (1.0)       | (27.5)        | (64.1)         | (7.4)        | (100.0)     |
| 学校   | 41          | 1,012         | 1,189          | 76           | 2,318       |
|      | (1.8)       | (43.6)        | (51.3)         | (3.3)        | (100.0)     |
| 公共施設 | 26          | 569           | 587            | 34           | 1,216       |
|      | (2.1)       | (46.8)        | (48.3)         | (2.8)        | (100.0)     |
| 寺社境内 | 42          | 680           | 799            | 60           | 1,581       |
|      | (2.7)       | (43.0)        | (50.5)         | (3.8)        | (100.0)     |
| 集合住宅 | 32          | 1,004         | 929            | 16           | 1,981       |
|      | (1.6)       | (50.7)        | (46.9)         | (0.8)        | (100.0)     |
| 個人住宅 | 75          | 783           | 258            | 8            | 1,124       |
|      | (6.7)       | (69.7)        | (22.9)         | (0.7)        | (100.0)     |
| 事業所  | 30          | 516           | 392            | 12           | 950         |
|      | (3.1)       | (54.3)        | (41.3)         | (1.3)        | (100.0)     |
| その他  | 5           | 266           | 159            | 6            | 436         |
|      | (1.1)       | (61.0)        | (36.5)         | (1.4)        | (100.0)     |
| 区全体  | 299         | 6,161         | 7,418          | 570          | 14,448      |
|      | (2.1)       | (42.6)        | (51.3)         | (4.0)        | (100.0)     |

\*構成比は小数第 2 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

## 1-6 樹種の状況

令和2年（第9次）調査で確認された樹種は、約130種であった。

樹種別の樹木本数を表5-10、樹種別本数構成比を図5-8に示す。

最も本数が多い樹種はサクラの2,837本で、全体の19.6%を占める。次いでケヤキが2,363本（16.3%）、スダジイが1,392本（9.6%）、イチョウが1,359本（9.4%）であった。この4種で全体の54.9%を占めている。

区内の樹林地には、江戸時代の大名屋敷等の庭園を由来とするものがあるが、自然林といえる樹林はほとんど残っていない状況である。そのような中で、昔から武蔵野台地に多く分布していたカシ類、シイ類、ケヤキ、エノキ、ムクノキ等が、令和2年（第9次）調査においても数多く確認されている。

第9次調査では本数の上位にマテバシイが入り、ネズミモチが入っていない。マテバシイは、都立戸山公園等にあるものが、生長によって新たに調査対象樹木の大きさとなり、本数が増加している。

表5-10 樹種別本数

| 樹種名      | 樹木本数<br>(本) | 構成比<br>(%) |
|----------|-------------|------------|
| 1 サクラ    | 2,837       | 19.6       |
| 2 ケヤキ    | 2,363       | 16.3       |
| 3 スダジイ   | 1,392       | 9.6        |
| 4 イチョウ   | 1,359       | 9.4        |
| 5 クスノキ   | 1,207       | 8.3        |
| 6 ヒマラヤスギ | 673         | 4.6        |
| 7 シラカシ   | 544         | 3.8        |
| 8 エノキ    | 359         | 2.5        |
| 9 ムクノキ   | 266         | 1.8        |
| 10 トウカエデ | 246         | 1.7        |
| 11 マテバシイ | 203         | 1.4        |
| 12 その他   | 3,040       | 21.0       |
| 合計       | 14,489      | 100.0      |

\*構成比は小数第2位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

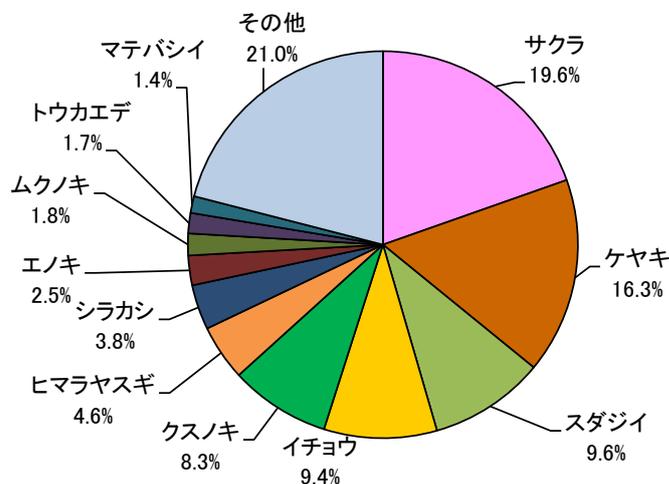


図5-8 樹種別本数構成比

樹種別の太さの状況を表 5-11、樹種別の太さ別本数構成比を図 5-9 に示す。

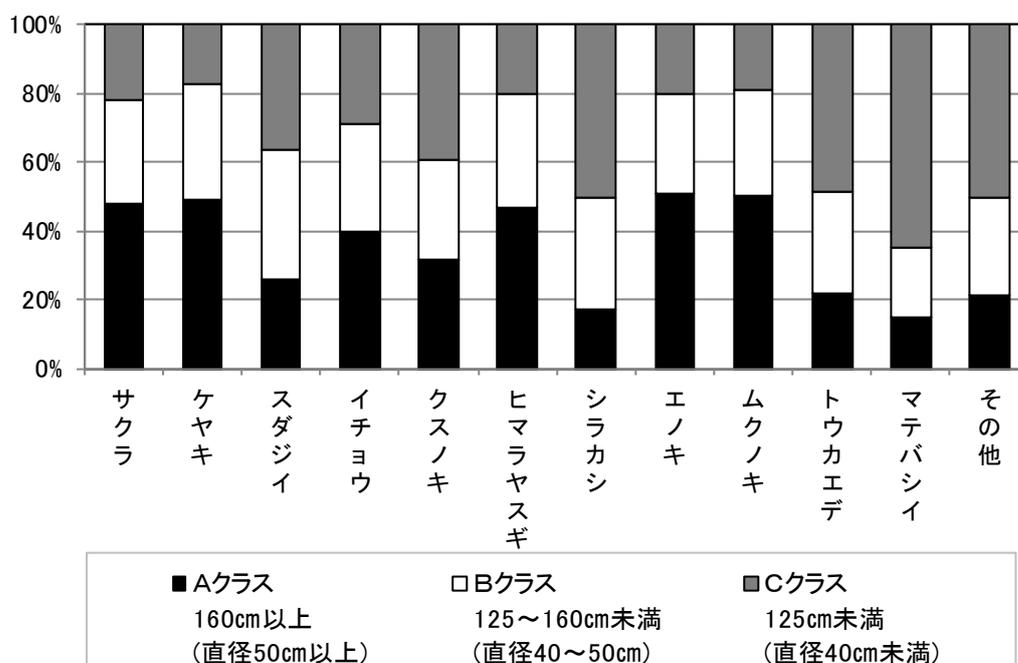
Aクラスの樹木割合が高い樹種は、エノキ、ムクノキ、ケヤキ、サクラ、ヒマラヤスギであった。これらの樹木は比較的成長が早く、公園や学校等の古くからある緑地に多いため、大きいものが多いと考えられる。

また、Cクラスの樹木割合が高い樹種は、マテバシイ、シラカシ、トウカエデであった。

表 5-11 樹種別の太さの状況

| 樹種名      | Aクラス<br>160cm以上<br>(直径50cm以上) | Bクラス<br>125～160cm未満<br>(直径40～50cm) | Cクラス<br>125cm未満<br>(直径40cm未満) | 合計本数   |
|----------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--------|
| 1 サクラ    | 1,354                         | 862                                | 621                           | 2,837  |
| 2 ケヤキ    | 1,157                         | 796                                | 410                           | 2,363  |
| 3 スダジイ   | 362                           | 525                                | 505                           | 1,392  |
| 4 イチョウ   | 542                           | 426                                | 391                           | 1,359  |
| 5 クスノキ   | 381                           | 349                                | 477                           | 1,207  |
| 6 ヒマラヤスギ | 314                           | 223                                | 136                           | 673    |
| 7 シラカシ   | 93                            | 177                                | 274                           | 544    |
| 8 エノキ    | 182                           | 103                                | 74                            | 359    |
| 9 ムクノキ   | 134                           | 81                                 | 51                            | 266    |
| 10 トウカエデ | 53                            | 73                                 | 120                           | 246    |
| 11 マテバシイ | 30                            | 41                                 | 132                           | 203    |
| 12 その他   | 640                           | 865                                | 1,535                         | 3,040  |
| 合計       | 5,242                         | 4,521                              | 4,726                         | 14,489 |

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-9 樹種別の太さ別本数構成比

地域別の樹種の構成を表 5-12、図 5-10 に示す。

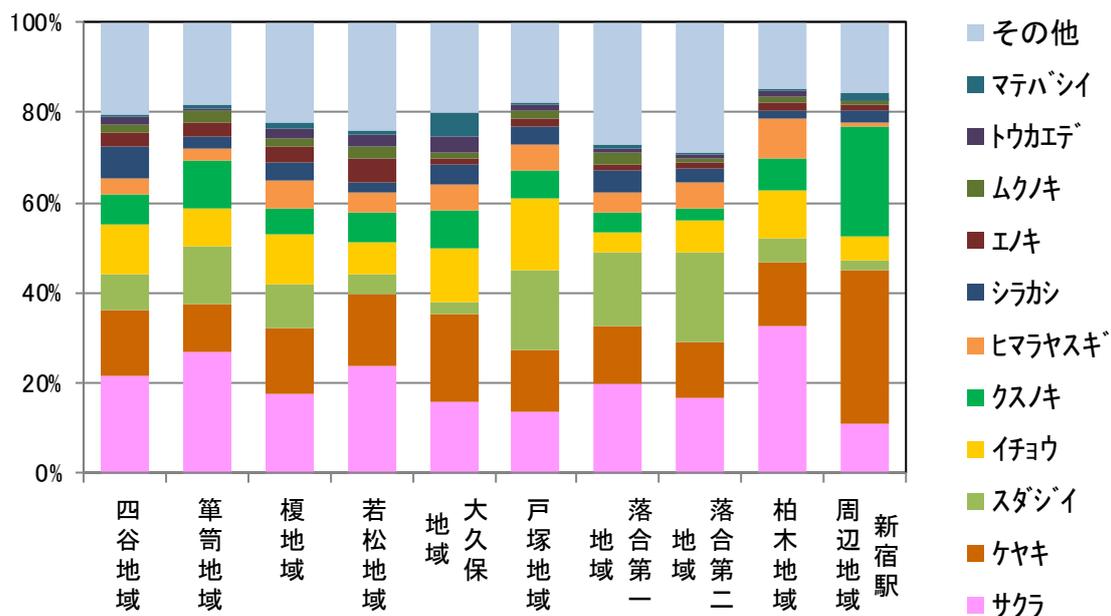
地域別の特徴としては、新宿駅周辺地域にはケヤキ、クスノキの割合が高く、柏木地域はサクラの割合が高くなっている。スタジイは戸塚地域、落合第一地域、落合第二地域に多く、かつて屋敷林として植えられた名残であると考えられる。また、落合第一地域と落合第二地域ではその他の割合が高く、多様な樹種が多いことが分かる。

表 5-12 10 地域別の樹種別樹木本数

単位：本

| 地域      | サクラ   | ケヤキ   | スタジイ  | イチヨウ  | クスノキ  | ヒマラヤスキ | シラカシ | エノキ | ムクノキ | トウカエデ | マテバシイ | その他   | 合計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-----|------|-------|-------|-------|--------|
| 四谷地域    | 306   | 203   | 108   | 161   | 88    | 57     | 94   | 43  | 26   | 27    | 6     | 284   | 1,403  |
| 笹筒地域    | 396   | 161   | 190   | 124   | 167   | 45     | 45   | 46  | 40   | 10    | 12    | 255   | 1,491  |
| 榎地域     | 137   | 107   | 76    | 80    | 39    | 46     | 29   | 26  | 11   | 16    | 12    | 169   | 748    |
| 若松地域    | 525   | 348   | 100   | 152   | 136   | 98     | 50   | 115 | 68   | 55    | 20    | 543   | 2,210  |
| 大久保地域   | 325   | 394   | 60    | 241   | 176   | 115    | 91   | 27  | 19   | 79    | 105   | 411   | 2,043  |
| 戸塚地域    | 257   | 257   | 329   | 296   | 121   | 102    | 80   | 31  | 34   | 23    | 11    | 332   | 1,873  |
| 落合第一地域  | 276   | 177   | 229   | 60    | 65    | 62     | 62   | 24  | 34   | 14    | 12    | 375   | 1,390  |
| 落合第二地域  | 196   | 144   | 227   | 82    | 34    | 64     | 38   | 14  | 14   | 7     | 4     | 337   | 1,161  |
| 柏木地域    | 272   | 118   | 43    | 89    | 60    | 71     | 18   | 13  | 11   | 12    | 2     | 123   | 832    |
| 新宿駅周辺地域 | 147   | 454   | 30    | 74    | 321   | 13     | 37   | 20  | 9    | 3     | 19    | 211   | 1,338  |
| 区全体     | 2,837 | 2,363 | 1,392 | 1,359 | 1,207 | 673    | 544  | 359 | 266  | 246   | 203   | 3,040 | 14,489 |

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-10 10 地域別の樹種別本数構成比

### 1-7 樹木の樹形、樹勢の状況

現地調査では各樹木の樹形と樹勢について、3段階（良好、普通、不良）の判定を行った。なお、立ち入りができないなど樹形、樹勢の調査ができない樹木が75本あり、集計対象樹木本数は14,414本である。土地用途別の樹形の状況を表5-13、図5-11、土地用途別の樹勢の状況を表5-14、図5-12に示す。

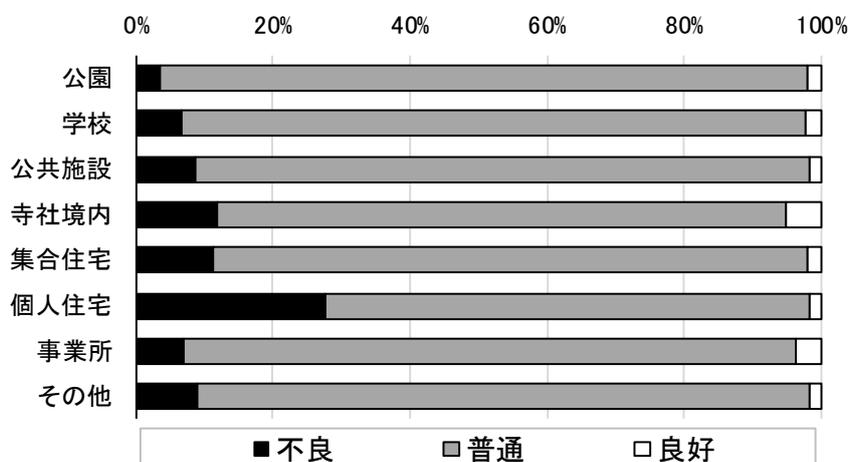
区全体の樹形の状況では不良が1,263本、8.8%、普通が12,811本、88.9%、良好が340本、2.3%であった。良好の割合が最も多い土地用途は、寺社境内の5.1%であった。寺社境内にはご神木等の大切に管理されている樹木があり、良好の割合が高いと考えられる。また、不良の割合が最も高い土地用途は、個人住宅の27.6%であった。個人住宅の樹木は、維持管理の都合から強剪定されたり、建築物等の被圧を受けて樹形が乱れる樹木が多く、不良と判定されたものが多いと考えられる。

表5-13 土地用途別の樹形の状況

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 土地用途 | 不良             | 普通               | 良好           | 合計本数              |
|------|----------------|------------------|--------------|-------------------|
| 公園   | 177<br>(3.7)   | 4,576<br>(94.5)  | 89<br>(1.8)  | 4,842<br>(100.0)  |
| 学校   | 157<br>(6.8)   | 2,106<br>(90.8)  | 55<br>(2.4)  | 2,318<br>(100.0)  |
| 公共施設 | 108<br>(8.9)   | 1,087<br>(89.4)  | 21<br>(1.7)  | 1,216<br>(100.0)  |
| 寺社境内 | 184<br>(11.7)  | 1,301<br>(83.2)  | 79<br>(5.1)  | 1,564<br>(100.0)  |
| 集合住宅 | 226<br>(11.4)  | 1,717<br>(86.8)  | 36<br>(1.8)  | 1,979<br>(100.0)  |
| 個人住宅 | 306<br>(27.6)  | 785<br>(70.9)    | 17<br>(1.5)  | 1,108<br>(100.0)  |
| 事業所  | 66<br>(6.9)    | 849<br>(89.3)    | 36<br>(3.8)  | 951<br>(100.0)    |
| その他  | 39<br>(8.9)    | 390<br>(89.5)    | 7<br>(1.6)   | 436<br>(100.0)    |
| 区全体  | 1,263<br>(8.8) | 12,811<br>(88.9) | 340<br>(2.3) | 14,414<br>(100.0) |

\*構成比は小数第2位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。  
\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図5-11 土地用途別の樹形の状況

区全体の樹勢状況では、不良が 804 本、5.6%、普通が 13,263 本、92.0%、良好が 347 本、2.4%であり、9 割以上の樹木が普通であった。

樹勢が良好な樹木本数の多い土地用途は、樹形と同様に寺社境内であった。寺社林を形成している樹木やご神木等のシンボルとなっているものが多く、樹勢も良好な樹木が多くなっている。また、不良の樹木本数割合が高い土地用途は、樹形と同様に個人住宅の樹木であった。他の土地用途と比較して敷地規模が小さいため、樹木の生育環境としては厳しい場合もあり、不良な樹木の割合が高いと考えられる。

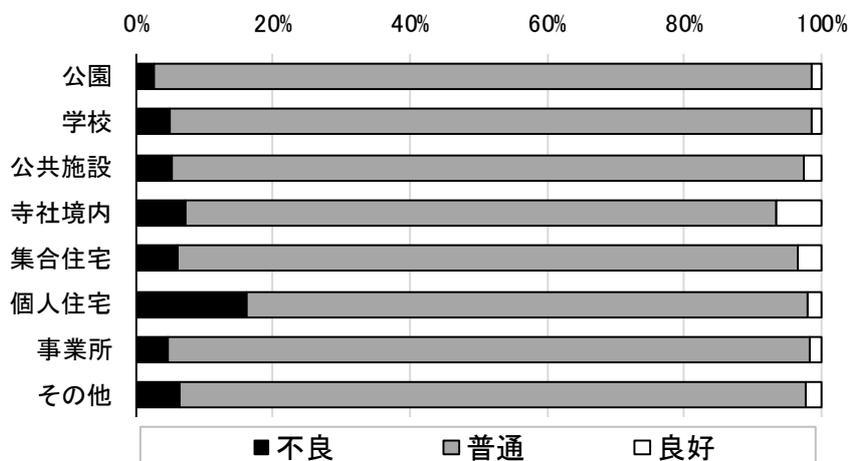
表 5-14 土地用途別の樹勢の状況

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 土地用途 | 不良     | 普通     | 良好    | 合計本数    |
|------|--------|--------|-------|---------|
| 公園   | 135    | 4,644  | 63    | 4,842   |
|      | (2.8)  | (95.9) | (1.3) | (100.0) |
| 学校   | 114    | 2,169  | 35    | 2,318   |
|      | (4.9)  | (93.6) | (1.5) | (100.0) |
| 公共施設 | 66     | 1,119  | 31    | 1,216   |
|      | (5.4)  | (92.0) | (2.6) | (100.0) |
| 寺社境内 | 112    | 1,350  | 102   | 1,564   |
|      | (7.2)  | (86.3) | (6.5) | (100.0) |
| 集合住宅 | 123    | 1,788  | 68    | 1,979   |
|      | (6.2)  | (90.4) | (3.4) | (100.0) |
| 個人住宅 | 180    | 906    | 22    | 1,108   |
|      | (16.2) | (81.8) | (2.0) | (100.0) |
| 事業所  | 46     | 889    | 16    | 951     |
|      | (4.8)  | (93.5) | (1.7) | (100.0) |
| その他  | 28     | 398    | 10    | 436     |
|      | (6.4)  | (91.3) | (2.3) | (100.0) |
| 区全体  | 804    | 13,263 | 347   | 14,414  |
|      | (5.6)  | (92.0) | (2.4) | (100.0) |

\*構成比は小数第 2 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。



\*新宿御苑、明治神宮外苑の樹木は除いている。

図 5-12 土地用途別の樹勢の状況

## 2. 巨木の状況

令和2年(第9次)調査では、保護樹木と同等の樹木として幹周り200cm以上を対象樹木としており、そのうち幹周り300cm以上の樹木を巨木とした。区内の巨木の上位30位を表5-15に示す。

区内における幹周り200cm以上の樹木は2,209本あり、300cm以上のものが241本で全体の1.7%であった。そのうち、幹周り計測ができなかったものは15本であった。樹種別での本数が多いものからサクラとケヤキが44本、クスノキとイチョウ35本であった。

土地用途では公園60本、寺社境内59本、学校52本、公共施設28本、集合住宅17本、個人住宅13本、事業所10本、その他2本であった。

令和2年(第9次)調査での区内における最も幹周りの大きい樹木は、防衛省内にあるイチョウで、幹周りは600cmであった。

表5-15 幹周り300cm以上の樹木(上位30位)

| 順位 | 樹種    | 幹周(cm) | 保護樹木    | 形状     | 施設名称                      | 町丁目     |
|----|-------|--------|---------|--------|---------------------------|---------|
| 1  | イチョウ  | 600    |         | 独立木    | 防衛省                       | 市谷本村町   |
| 2  | ケヤキ   | 529    |         | 株立(10) | 区立大京公園                    | 大京町     |
| 3  | ケヤキ   | 509    |         | 株立(6)  | 都立戸山公園(箱根山地区)             | 戸山二丁目   |
| 4  | プラタナス | 499    |         | 独立木    | 区立四谷見附公園                  | 四谷一丁目   |
| 5  | クスノキ  | 498    | S48-448 | 独立木    | 西向天神社                     | 新宿六丁目   |
| 6  | ケヤキ   | 495    | H27-公1  | 独立木    | 国立国際医療センター                | 戸山一丁目   |
| 7  | スタジイ  | 483    |         | 株立(5)  | 都立戸山公園(箱根山地区)             | 戸山二丁目   |
| 8  | クスノキ  | 481    | S49-056 | 独立木    | 亮朝院                       | 西早稲田三丁目 |
| 9  | イチョウ  | 470    | S48-299 | 独立木    | 幸國寺                       | 原町二丁目   |
| 10 | プラタナス | 466    |         | 株立(2)  | 区立四谷見附公園                  | 四谷一丁目   |
| 11 | サクラ   | 465    |         | 株立(6)  | 早稲田大学理工学部                 | 大久保三丁目  |
| 12 | スタジイ  | 460    |         | 独立木    | 学習院女子大学/学習院女子高等科/学習院女子中等科 | 戸山三丁目   |
| 13 | ケヤキ   | 458    |         | 株立(6)  | 都立戸山公園(箱根山地区)             | 戸山三丁目   |
| 13 | サクラ   | 458    |         | 株立(4)  | 区立百人町ふれあい公園               | 百人町三丁目  |
| 15 | イチョウ  | 446    | S48-300 | 独立木    | 幸國寺                       | 原町二丁目   |
| 16 | ケヤキ   | 441    |         | 株立(9)  | アクロポリス東京                  | 新小川町    |
| 17 | ムクノキ  | 440    |         | 独立木    | 都立戸山公園(箱根山地区)             | 戸山二丁目   |
| 18 | クスノキ  | 438    |         | 独立木    | 区立落合第三小学校                 | 西落合一丁目  |
| 19 | サクラ   | 435    |         | 株立(5)  | 都立戸山公園(大久保地区)             | 大久保三丁目  |
| 20 | ムクノキ  | 432    |         | 独立木    | みずほ銀行矢来町ハイツ               | 矢来町     |
| 21 | サクラ   | 428    |         | 株立(5)  | 上智大学グランド                  | 四谷一丁目   |
| 22 | イチョウ  | 427    | H27-172 | 独立木    | 花園神社                      | 新宿五丁目   |
| 23 | ケヤキ   | 424    |         | 株立(4)  | 都立戸山公園(箱根山地区)             | 戸山二丁目   |
| 24 | クスノキ  | 420    | S48-264 | 独立木    | 御霊神社                      | 中井二丁目   |
| 25 | ケヤキ   | 418    |         | 株立(10) | 東京都教育庁神楽坂庁舎               | 赤城元町    |
| 26 | ケヤキ   | 416    |         | 株立(6)  | 都立戸山公園(箱根山地区)             | 戸山二丁目   |
| 27 | イチョウ  | 410    | S48-606 | 独立木    | 大隅庭園                      | 戸塚町一丁目  |
| 27 | サクラ   | 410    |         | 株立(5)  | 早稲田大学文学部                  | 戸山一丁目   |
| 29 | クスノキ  | 408    | S50-022 | 株立(2)  | 諏訪神社                      | 高田馬場一丁目 |
| 30 | ケヤキ   | 407    |         | 株立(6)  | 区立鶴巻南公園                   | 早稲田鶴巻町  |

### 3. 保護樹木の状況

新宿区では、樹木のうち特にみどりの文化財として保護する必要があると認めるものを保護樹木として指定し、樹木の所有者または管理者に対して、維持管理に必要な費用の一部を助成するなどの支援を行っている。令和3年1月時点の保護樹木本数は1,263本である。

令和2年度（第9次）調査の樹木調査では、樹木医が保護樹木調査を行った。調査の内容は、外観による簡易診断とし、健全度と処置の必要性を判定した。

保護樹木のうち、樹形と樹勢の判定を行った1,253本について、調査結果を表5-16、図5-13に示す。

樹形については、良好な保護樹木は123本で全体の9.8%、樹勢については172本で全体の13.7%であった。一般樹木と比較して、良好なものの割合が非常に高いことが分かる。また、不良なものは樹形では101本、8.1%、樹勢では62本、5.0%であり、不良な保護樹木の割合は一般樹木と同程度であった。

表 5-16 保護樹木の樹形と樹勢の状況

上段：本数(本) 下段：構成比(%)

| 調査項目 | 不良    | 普通     | 良好     | 合計      |
|------|-------|--------|--------|---------|
| 樹形   | 101   | 1,029  | 123    | 1,253   |
|      | (8.1) | (82.1) | (9.8)  | (100.0) |
| 樹勢   | 62    | 1,019  | 172    | 1,253   |
|      | (5.0) | (81.3) | (13.7) | (100.0) |

\*構成比は小数第2位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

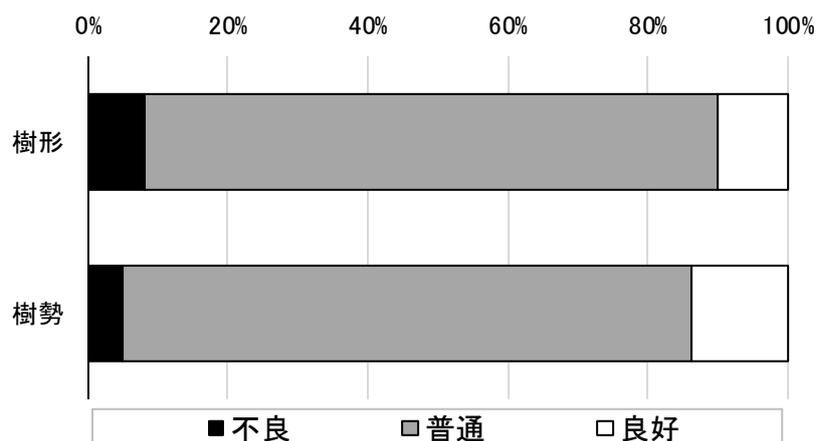


図 5-13 保護樹木の樹形と樹勢の状況

#### 4. 樹木の推移

昭和47年度（第1次）調査から令和2年度（第9次）調査の結果の比較を表5-17、図5-14に示す。

調査開始時の昭和47年度（第1次）から平成7年度（第4次）までは樹木本数は増加していたが、平成17年度（第6次）調査以降は減少が続いている。

第9次調査は第8次調査で存在した樹木の有無確認を行っており、その結果、消失した樹木本数と新規の樹木本数を表5-18に示す。一方で生長により調査対象となったもの、第8次調査での調査もれ等により、消失と新規追加の結果、全体としては167本の減少となった。また、直径40cm以上の樹木は増加しているが、40cm未満のもの減少が大きく、樹木全体としては減少となった。

表5-17 樹木本数の推移

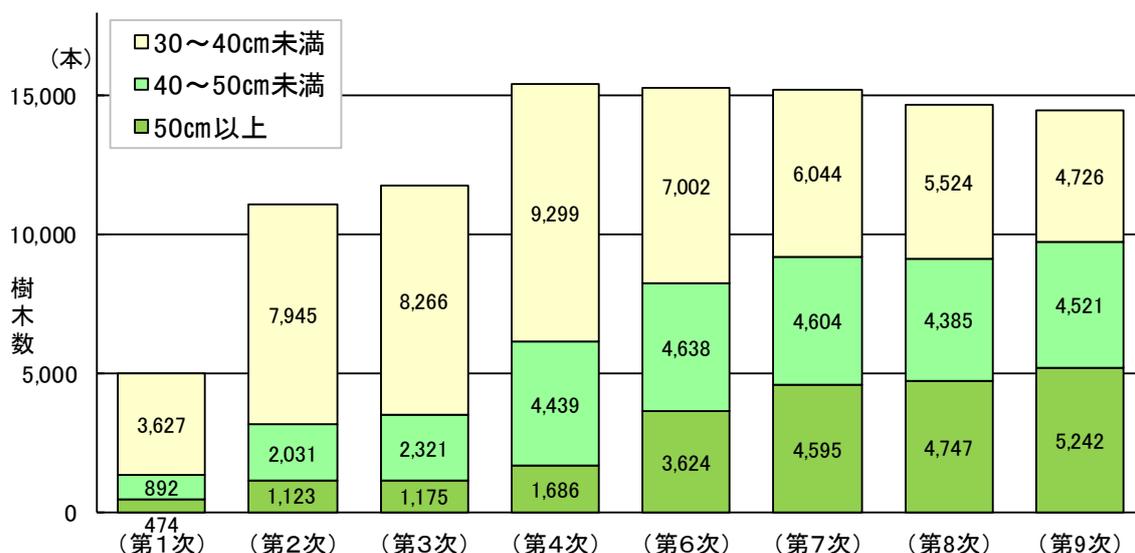
単位:本

| 直径ランク     | 昭和47年度<br>(第1次) | 昭和59年度<br>(第2次) | 平成2年度<br>(第3次) | 平成7年度<br>(第4次) | 平成17年度<br>(第6次) |
|-----------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 50cm以上    | 474             | 1,123           | 1,175          | 1,686          | 3,624           |
| 40～50cm未満 | 892             | 2,031           | 2,321          | 4,439          | 4,638           |
| 30～40cm未満 | 3,627           | 7,945           | 8,266          | 9,299          | 7,002           |
| 合計        | 4,993           | 11,099          | 11,762         | 15,424         | 15,264          |
| 前回からの増減   | —               | 6,106           | 663            | 3,662          | △160            |

| 直径ランク     | 平成22年度<br>(第7次) | 平成27年度<br>(第8次) | 令和2年度<br>(第9次) | 平成27年度<br>→令和2年度<br>変化率 |
|-----------|-----------------|-----------------|----------------|-------------------------|
| 50cm以上    | 4,595           | 4,747           | 5,242          | 110.4                   |
| 40～50cm未満 | 4,604           | 4,385           | 4,521          | 103.1                   |
| 30～40cm未満 | 6,044           | 5,524           | 4,726          | 85.6                    |
| 合計        | 15,243          | 14,656          | 14,489         | 98.9                    |
| 前回からの増減   | △21             | △587            | △167           |                         |

\*変化率は平成27年度を100とした場合の令和2年度の各直径ランク樹木本数の指数。  
 \*平成12年度（第5次）の調査では樹木調査は行っていない。  
 \*令和2年度（第9次）調査では幹周りを計測しているが、比較のため直径に換算した。



昭和47年度 昭和59年度 平成2年度 平成7年度 平成17年度 平成22年度 平成27年度 令和2年度

図5-14 直径ランク別樹木本数の推移

表 5-18 現地調査における樹木の消失本数と新規本数  
平成 27 年度(第 8 次)と令和 2 年度(第 9 次)

| 地域      | 消失樹木本数(本) | 新規樹木本数(本) |
|---------|-----------|-----------|
| 四谷地域    | 317       | 239       |
| 箆笥地域    | 272       | 191       |
| 榎地域     | 87        | 164       |
| 若松地域    | 308       | 232       |
| 大久保地域   | 201       | 348       |
| 戸塚地域    | 173       | 235       |
| 落合第一地域  | 272       | 87        |
| 落合第二地域  | 213       | 70        |
| 柏木地域    | 72        | 158       |
| 新宿駅周辺地域 | 168       | 192       |
| 区全体     | 2,083     | 1,916     |

地域別の樹木本数の推移を表 5-19、図 5-15 に示す。

樹木本数が増加している地域は、大久保地域、柏木地域、榎地域、戸塚地域、新宿駅周辺の 5 地域で、他の 5 地域の樹木本数は減少した。増加率の最も高い地域は榎地域と柏木地域で 111.5% の増加であった。増加本数が最も多い地域は大久保地域の 147 本、107.8% であった。榎地域では寺社境内で新たに調査対象樹木が増加している。また、柏木地域では新宿フロントタワー、大久保地域では新宿ガーデンタワーの緑地整備によって、調査対象となる樹木が増加したことによる。

一方、減少率が最も大きい地域は落合第一地域の 88.3%、次いで落合第二地域の 89.0% であり、両地域とも 100 本以上の樹木が減少している。減少の主な要因は建築計画に伴う樹木の伐採であった。

区全体では、直径 50 cm 以上の樹木が 495 本、直径 40～50 cm 未満の樹木が 136 本増加しているが、直径 30～40 cm 未満の樹木は 798 本の減少であった。建築計画が発生した場合、幹周りの大きい樹木は残す場合もあるが、小さい樹木は伐採されることが多く、小さい樹木ほど減少が大きいと考えられる。

表 5-19 地域別樹木本数の推移

| 地域      | 平成27年度(本) | 令和2年度(本) | 増減(本) | 変化率   |
|---------|-----------|----------|-------|-------|
| 四谷地域    | 1,481     | 1,403    | △ 78  | 94.7  |
| 箆笥地域    | 1,572     | 1,491    | △ 81  | 94.8  |
| 榎地域     | 671       | 748      | 77    | 111.5 |
| 若松地域    | 2,286     | 2,210    | △ 76  | 96.7  |
| 大久保地域   | 1,896     | 2,043    | 147   | 107.8 |
| 戸塚地域    | 1,811     | 1,873    | 62    | 103.4 |
| 落合第一地域  | 1,575     | 1,390    | △ 185 | 88.3  |
| 落合第二地域  | 1,304     | 1,161    | △ 143 | 89.0  |
| 柏木地域    | 746       | 832      | 86    | 111.5 |
| 新宿駅周辺地域 | 1,314     | 1,338    | 24    | 101.8 |
| 区全体     | 14,656    | 14,489   | △ 167 | 98.9  |

\*変化率は平成 27 年度の樹木本数を 100 とした場合の令和 2 年度の樹木本数の指数。

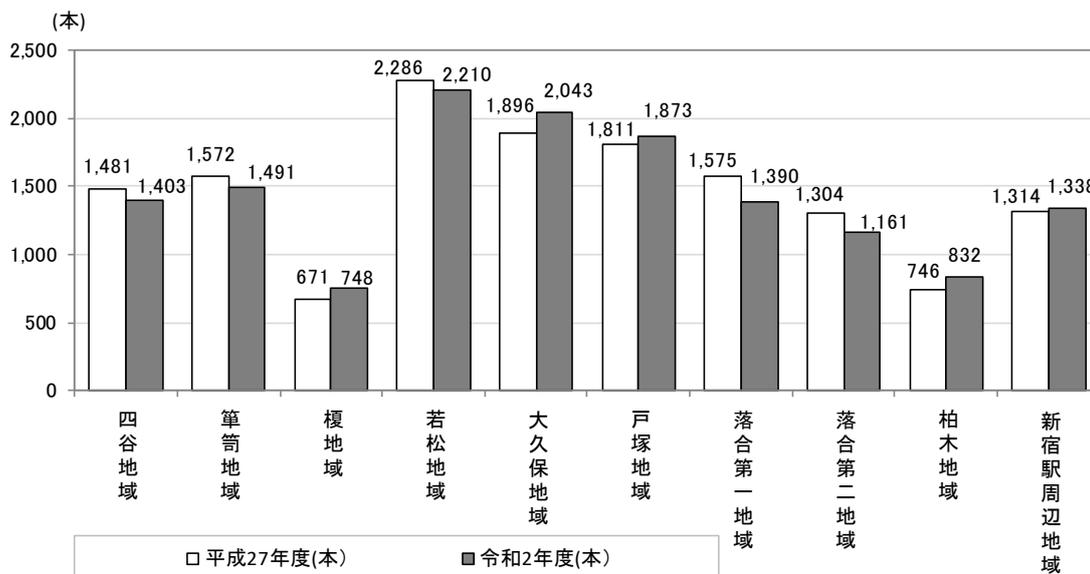


図 5-15 10 地域別の樹木本数の推移

土地用途別の樹木本数の推移を表 5-20、図 5-16 に示す。

寺社境内、公共施設、事業所の樹木本数は増加したが、その他の土地用途では減少であった。

減少本数が最も大きい土地用途は個人住宅で 267 本減少し、80.9%であった。次いでその他が 266 本の減少で、減少率は最も大きい 62.1%であった。個人住宅の減少の主な要因は、住宅の建替えに伴うものであり、比較的敷地規模が大きく、樹木を有する庭のある個人住宅が、集合住宅や敷地を細分化した個人住宅の建築によって、樹木が消失したことによる。集合住宅の減少要因も建築計画に伴うものであるが、個人住宅と比較して減少率は小さい。大規模なマンション開発等の敷地では、緑化計画書制度等により一定の緑地面積の確保が誘導、整備された緑地の樹木が生長し、調査対象となる樹木が増加した。

表 5-20 土地用途別樹木本数の推移

| 土地用途    | 平成27年度(本) | 令和2年度(本) | 増減(本) | 変化率   |
|---------|-----------|----------|-------|-------|
| 公 園     | 4,931     | 4,842    | △ 89  | 98.2  |
| 学 校     | 2,536     | 2,318    | △ 218 | 91.4  |
| 公 共 施 設 | 1,031     | 1,246    | 215   | 120.9 |
| 寺 社 境 内 | 1,154     | 1,581    | 427   | 137.0 |
| 集 合 住 宅 | 2,122     | 1,982    | △ 140 | 93.4  |
| 個 人 住 宅 | 1,400     | 1,133    | △ 267 | 80.9  |
| 事 業 所   | 780       | 951      | 171   | 121.9 |
| そ の 他   | 702       | 436      | △ 266 | 62.1  |
| 区全体     | 14,656    | 14,489   | △ 167 | 98.9  |

\*変化率は平成 27 年度の樹木本数を 100 とした場合の令和 2 年度の樹木本数の指数。

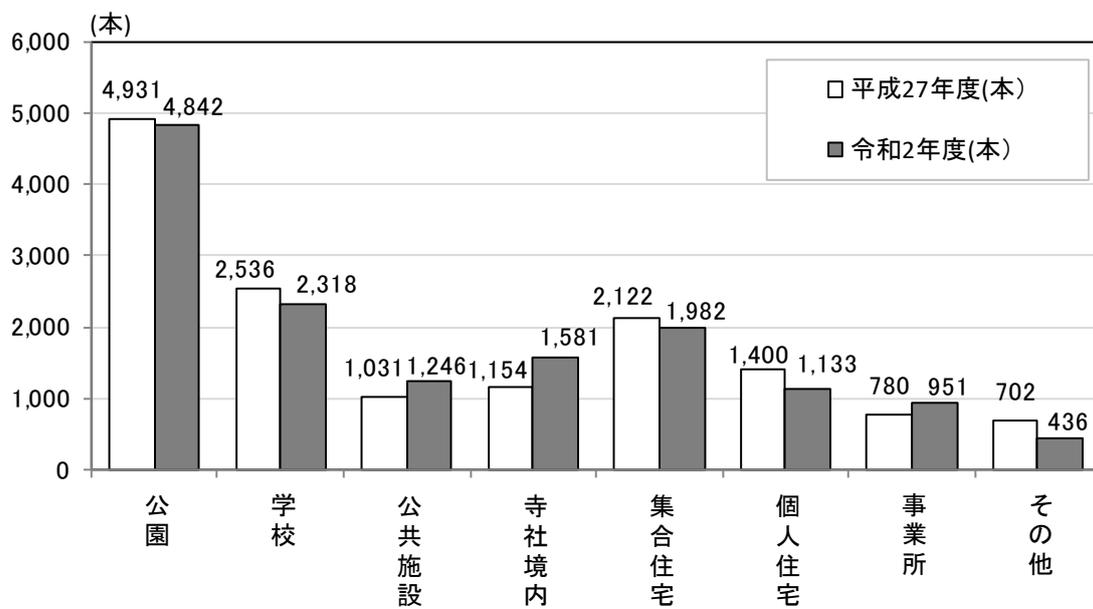


図 5-16 土地用途別樹木本数の推移

樹種別の推移を表 5-21、図 5-17 に示す。第 1 次調査は集計対象となる樹種が異なるため比較対象から外し、第 2 次調査以降について比較を行った。第 3 次調査からは表 5-21 に示す樹種について分類を行っており、第 9 次調査においても樹種区分を合わせた集計を行った。

第 8 次調査と第 9 次調査の比較では、樹木本数が増えた樹種はシラカシの 119 本、クスノキの 85 本であった。この 2 種は第 2 次調査以降増加傾向にある。一方、減少が最も大きい樹種はサクラの 178 本、次いでスダジイの 100 本であった。サクラは増加傾向であったが、第 9 次調査で減少に転じた。近年、ソメイヨシノの樹勢等の衰えにより、植替えや伐採の事例が多く、区内においても植替え等により減少したものと考えられる。

第 2 次調査では 148 本あったヤナギは第 9 次調査では 14 本、147 本あったアオギリは 68 本となっている。また、イチョウ、スダジイ、ヒマラヤスギ、プラタナスは減少傾向が続いている。強風による倒木など、都市における大径木の維持管理が課題となっており、イチョウ、スダジイ、ヒマラヤスギ、プラタナス等の生長が早く大径木となる樹種は、新規に植栽されることも少なく、樹木本数が減少していると考えられる。

表 5-21 樹種別本数の推移

単位：本

| 樹種     | 昭和59年度<br>(第2次) | 平成2年度<br>(第3次) | 平成7年度<br>(第4次) | 平成17年度<br>(第6次) | 平成22年度<br>(第7次) | 平成27年度<br>(第8次) | 令和2年度<br>(第9次) | 平成27年度→<br>令和2年度<br>増減 |
|--------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------------|
| ケヤキ    | 1,781           | 1,894          | 2,201          | 2,329           | 2,467           | 2,418           | 2,363          | △ 55                   |
| イチョウ   | 1,656           | 1,699          | 1,691          | 1,576           | 1,515           | 1,387           | 1,359          | △ 28                   |
| スダジイ   | 1,585           | 1,564          | 2,315          | 1,808           | 1,688           | 1,492           | 1,392          | △ 100                  |
| サクラ    | 1,320           | 1,534          | 2,656          | 2,611           | 2,911           | 3,015           | 2,837          | △ 178                  |
| ヒマラヤスギ | 1,032           | 1,074          | 1,329          | 972             | 888             | 754             | 673            | △ 81                   |
| クスノキ   | 361             | 382            | 742            | 1,027           | 1,148           | 1,122           | 1,207          | 85                     |
| プラタナス  | 244             | 242            | 240            | 164             | 130             | 116             | 101            | △ 15                   |
| シラカシ   | 163             | 166            | 342            | 346             | 395             | 425             | 544            | 119                    |
| ヤナギ    | 148             | 142            | 138            | 71              | 48              | 29              | 14             | △ 15                   |
| アオギリ   | 147             | 139            | 172            | 76              | 100             | 84              | 68             | △ 16                   |
| その他    | 2,662           | 2,926          | 3,598          | 4,284           | 3,953           | 3,814           | 3,931          | 117                    |
| 合計     | 11,099          | 11,762         | 15,424         | 15,264          | 15,243          | 14,656          | 14,489         | △ 167                  |

\*平成12年度(第5次)の調査では樹木調査は行っていない。

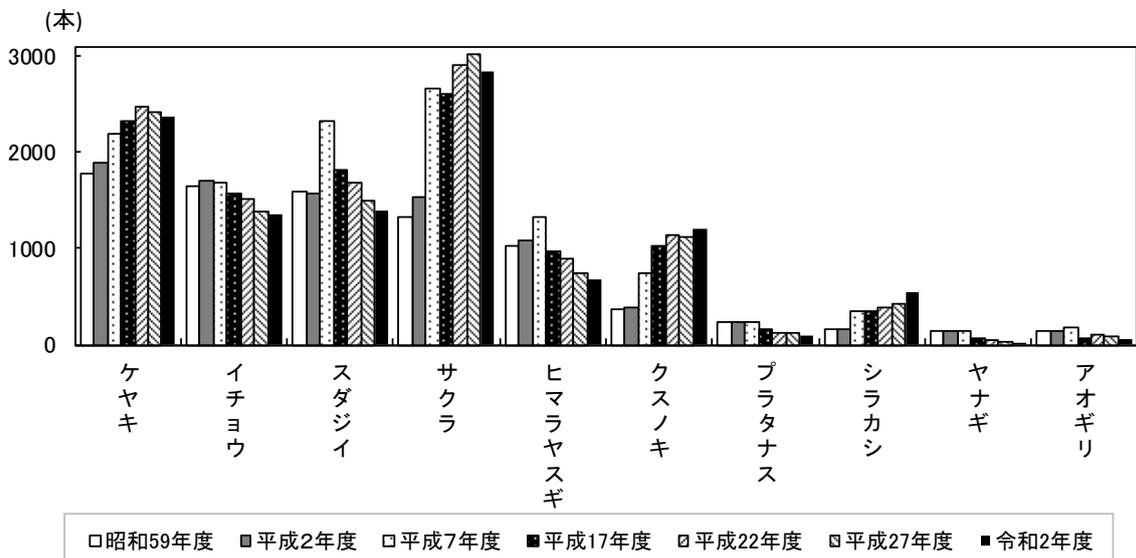


図 5-17 樹種別本数の推移

## ～ 樹木を守り続ける！ ～

新宿区内で、大きな樹木やめずらしい樹木が見られる場所といえば、なんといっても新宿御苑です。

しかし、区内の他の公共施設や社寺にも、戦火をくぐり抜け、生長し続けている貴重な樹木があります。市谷本村町の防衛省の中には、幹周りが約 6mあるイチョウの大木があります。また、原町二丁目にある幸國寺には、区の天然記念物の雌のイチョウがあり、境内奥の雄のイチョウとともに区の「みどりの文化財」として未永くこの場所に残っていくように、区の特別保護樹木に指定しています。

みなさんも体調が優れない時に、医師による問診や触診、またはレントゲン撮影などによって精密診断してもらうように、弱った樹木も、樹木医によって目視や診断用具を使って外観を診断します。さらに内部の腐朽状況などを樹木診断機器によって調査して適切な治療をすることで、腐朽の進行を緩やかにし、倒木などの危険を回避することができます。

区では、大きな樹木、樹林及び生垣を残していくために、助成金の支給や樹木医による樹木診断などの支援を行う「保護樹木制度」を設けています。詳細については区にお問合わせください。



特別保護樹木 幸國寺 イチョウ

### 保護樹木等の指定基準（樹木が健全で美観上優れている樹木）

|     |  |
|-----|--|
| 樹木  | 地上 1.5mの高さにおける幹周りが 1.2m以上の樹木                     |
| 樹林  | 面積が 500 m <sup>2</sup> 以上の樹林                     |
| 生垣  | 高さが地上 1.2m以上、長さが15m以上の生垣で、景観上優れ、良好な維持管理が行われているもの |
| その他 | 区長が特に必要があると認めるもの                                 |

### 保護樹木等の支援内容

- 助成金の支給
- 賠償責任保険の加入
- 緊急時の維持管理（樹木診断等）
- 保護樹木の落葉回収
- 保護樹木の移植助成



（外観診断：木槌打診）



（精密診断：貫入抵抗測定）

樹木医による樹木診断

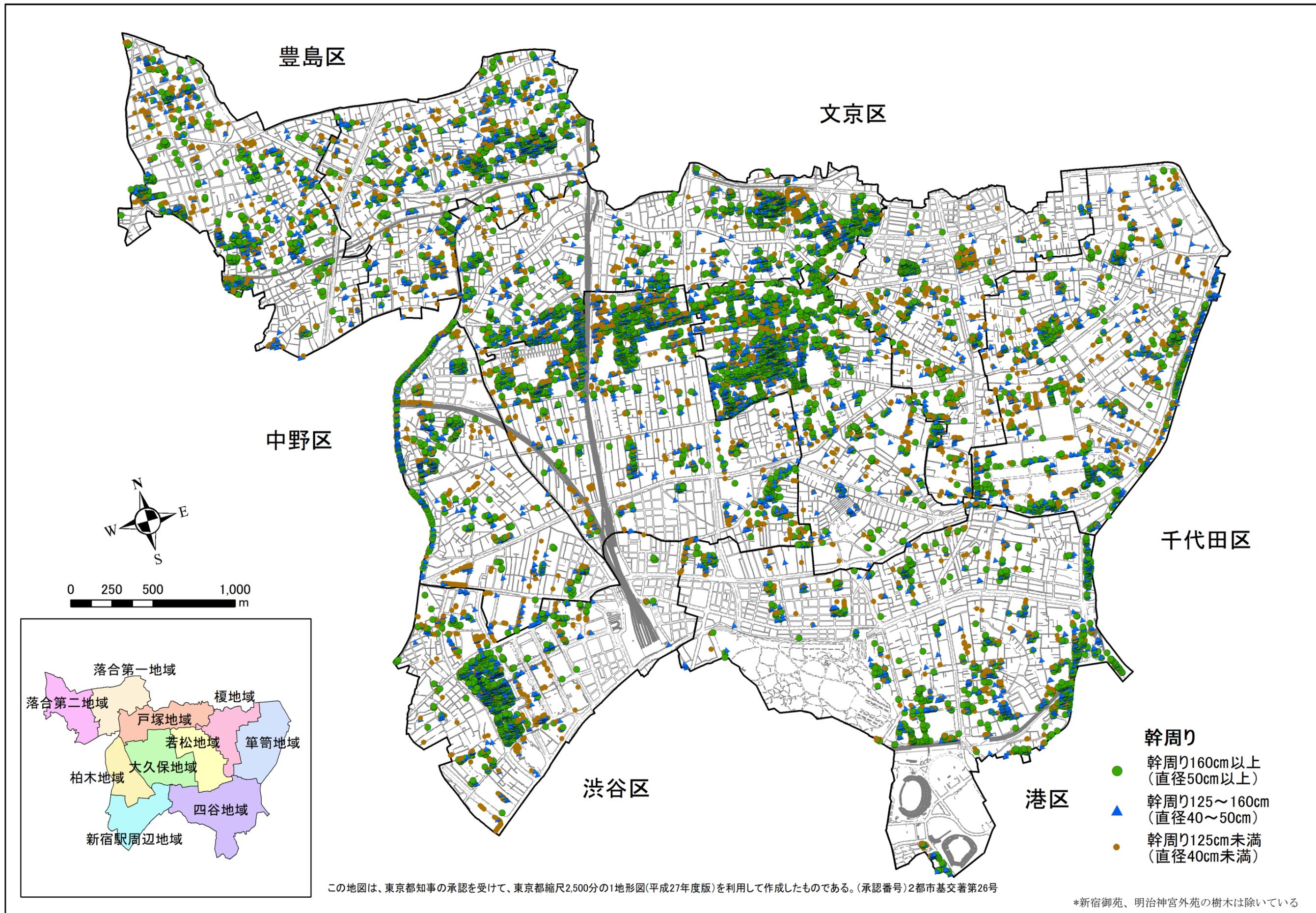


図 5-18 樹木分布図 (幹周り区分別)